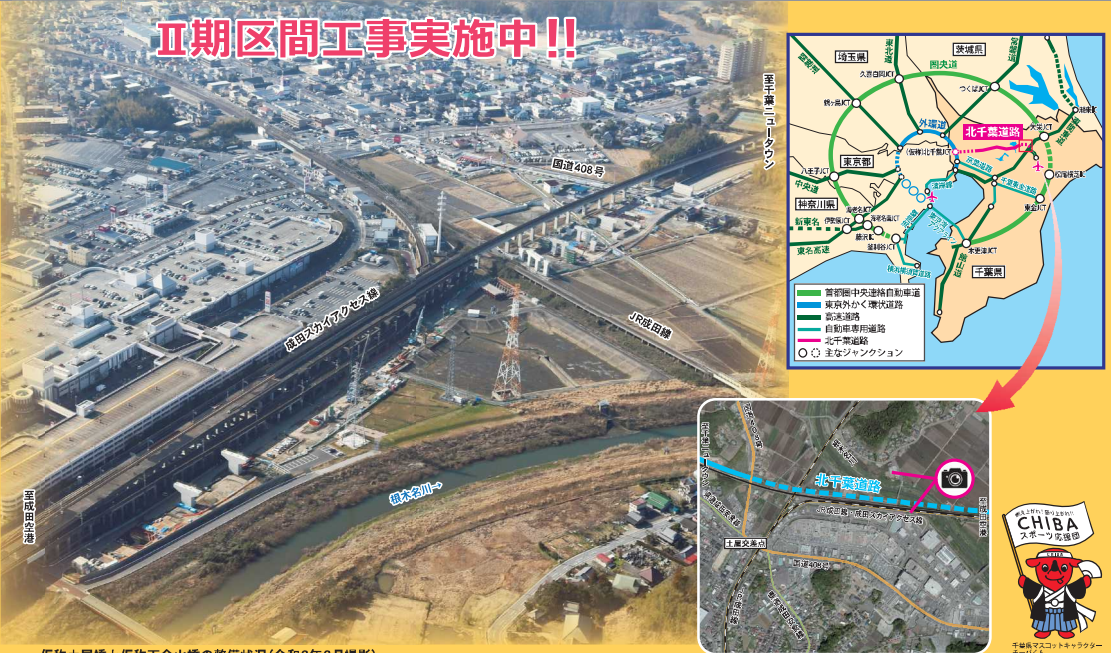
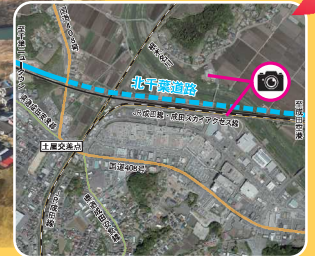


【編集・発行】
2020年3月版
千葉県北千葉道路建設事務所
〒286-0017 成田市赤坂2-1-14
TEL:0476-28-1411

Ⅱ期区間工事実施中!!



仮称土屋橋と仮称下山金橋の整備状況(令和2年2月撮影)



北千葉道路とは

一般国道464号は、常磐道と東関東道のほぼ中間に位置し、平成30年6月2日に開通した外環道(千葉県区間)から千葉ニュータウンを経て、成田空港までを最短で結ぶ延長約43kmの幹線道路です。
北千葉道路の整備により、沿線地域の慢性的な交通混雑の緩和や首都圏の国際競争力の強化に資するとともに、災害時における緊急輸送道路として機能するなど、様々な効果が期待されます。

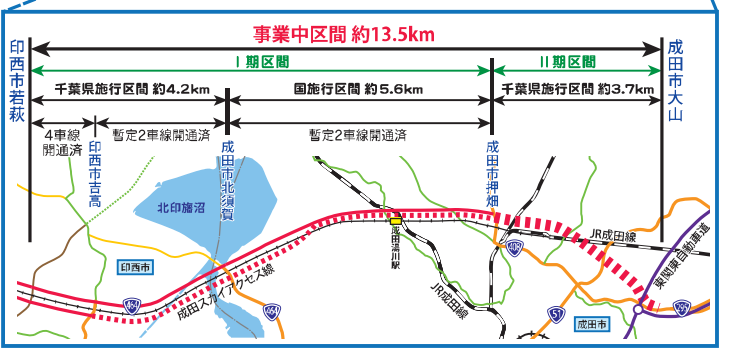
北千葉道路(印西～成田間)の整備状況

北千葉道路(印西～成田間)約13.5kmのうち、印西市若萩から成田市押畑までのⅠ期区間約9.8kmが平成17年度に、残る成田市押畑から大山までのⅡ期区間約3.7kmが平成19年度に、それぞれ事業着手しました。
Ⅰ期区間については、現在、県と国が分担しながら事業を行っており、起点部となる印西市若萩から成田市北須賀までの約4.2kmを県施行区間として、続く、成田市北須賀から押畑までの約5.6kmを国施行区間としてそれぞれ整備を進めています。
県施行区間については、平成29年2月19日に、国施行区間についても平成31年3月3日に暫定2車線で開通しています。
Ⅱ期区間については、全線を県施行区間として、早期開通を目指し、工事を進めているところです。

北千葉道路(印西～成田間)の計画概要

事業名：一般国道464号北千葉道路(印西市～成田市)
起点：印西市(旧印旛郡印旛村)若萩地先
終点：成田市大山地先
延長：約13.5km
道路規格：第3種第1級(設計速度80km/h)
車線数：4車線
主な交差道路：一般国道464号、408号、51号など

北千葉道路の概要



ますます高まる!北千葉道路の整備効果

- その1. 広域道路ネットワークの強化・物流効率化の支援～地域活性化の実現～
- その2. 交通処理能力の向上・成田市街地の交通円滑化
- その3. 救急医療・防災機能の強化

周辺道路の交通円滑化

現場の状況

① 成田市北須賀付近
大型車が多い!
幅員が狭い!
見通しが悪い!

整備後

② 宗吾茶室付近
③ 松崎インター付近

幅員が広く、走りやすい道路に通過交通が転換され、生活道路の円滑な交通に寄与。

全線が開通することにより、都心・首都圏北部・東葛地域と成田空港との広域アクセスが向上し、空港周辺地域への企業立地や観光振興による経済効果が大きいと期待される。

また、都市計画道路ニュータウン中央線の全線開通との相乗効果で、国道408号・51号・295号を通過する交通の分散化が進み、(成田)の円滑化が図られる。

北千葉道路は成田空港の更なる機能強化を進める中で非常に重要な道路であり、物流及び人員輸送にとって大きな役割を果たします。

沿線地域の交通利便性の向上、経済の活性化、成田市街地の交通の円滑化、成田への観光客の誘致等が図られるとともに、救急医療・防災機能の強化が図られるものと期待しています。

大規模災害時における近隣消防本部の応援に際しても、大型の消防車が安全に走行できるため、迅速な応援が見込めます。

物流施設・商業施設の立地促進!

北千葉道路が延伸していることに伴い、物流施設・商業施設の立地が進んでいます。地域の経済が活性化すると共に買物の利便性が高まり、住みよいまちづくりを牽引しています。



千葉県が実施した平成30年度消費者購買行動調査によると、前回調査時(平成24年度)から鎌ヶ谷市が圏域に加わるなど、印西市は準商業中心都市から商業中心都市に位置付けられた。また、北千葉道路成田市街地～押畑間の開通により、成田市からの買物客が多く見受けられるようになり、北千葉道路の整備が印西市に与える波及効果は大きい。

一方、商業開通だけでなく、大型物流センターの進出も相次ぎ、雇用面でも今後良い影響を与えることが期待できる。(印西市商工会)

印西牧の原駅周辺(大規模商業施設が立地)



北千葉道路の開通は、成田市内から基幹災害拠点病院である日本医科大学千葉北総病院に緊急搬送する際にも利用しており、路面状況がよく、カーブが少ないため、より安全で迅速な緊急走行が可能となり、搬送時間の短縮に繋がっています。また、成田市消防～押畑消防が併走したことで、救急隊が行う誘導搬送の連携体制が広がりました。

大規模災害時における近隣消防本部の応援に際しても、大型の消防車が安全に走行できるため、迅速な応援が見込めます。(成田市消防本部)

災害に強いまちづくりに貢献

令和元年には、記録的な暴風雨となった台風15号、19号及び10月25日の大雨が短期間にうちに連続して発生し、大雨や暴風による道路法面の崩落や倒木等が生じ、多くの道路で通行止めとなりました。北千葉道路の整備により、東西方向の連絡、災害物資の輸送、緊急車両の通行等のための災害に強いネットワークが構築されます。

